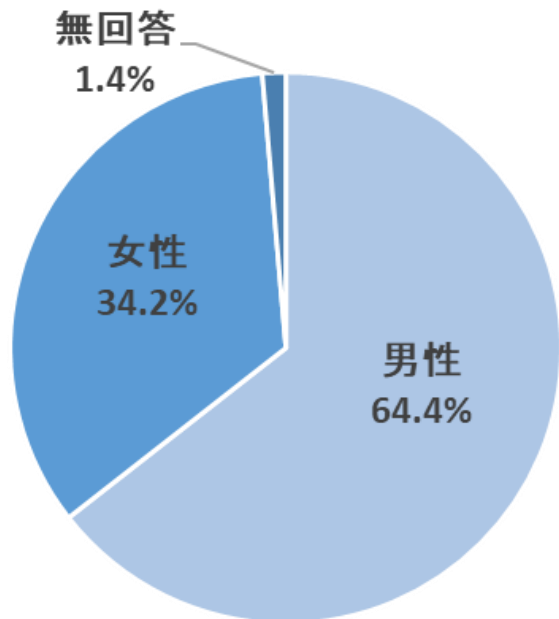


令和4年度 新しい働き方に関する職員満足度調査結果

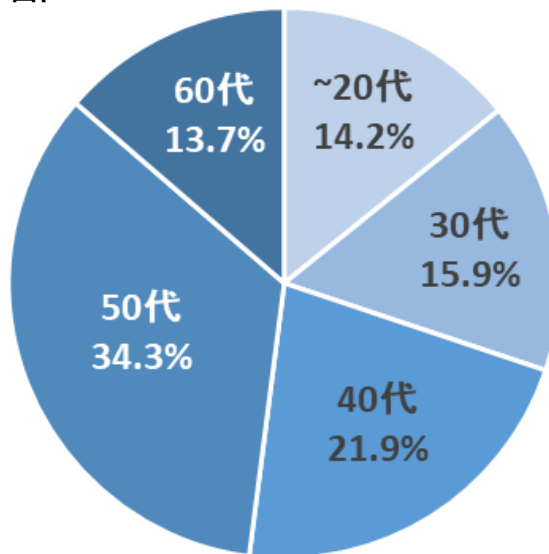
- 調査目的 新しい働き方に関する職員の認識や意見を調査し、本県の現在位置を把握するとともに、今後の取組等に活かして、職員のさらなるモチベーション向上等に繋げていく
- 調査期間 令和5年3月8日（水）～3月22日（水）
- 調査方法 Webフォームから回答（一斉メールで依頼）
- 調査対象 プラン対象外の県立高校（教委）、県立病院、警察を除く全職員
- 調査対象数 9,626人
- 回答数 5,254人（回答率：約54.6%）

回答者の属性

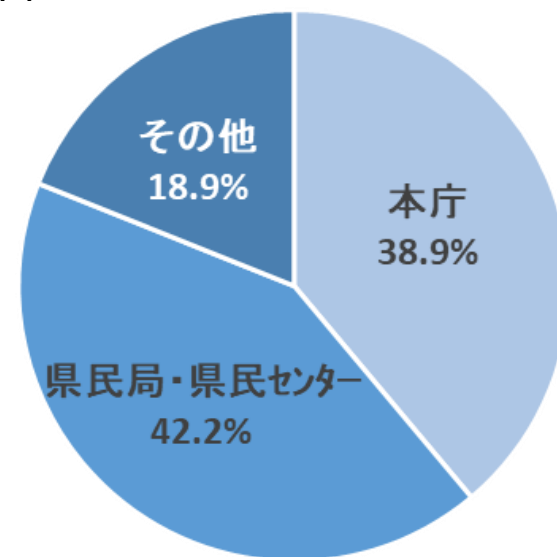
■ 性別



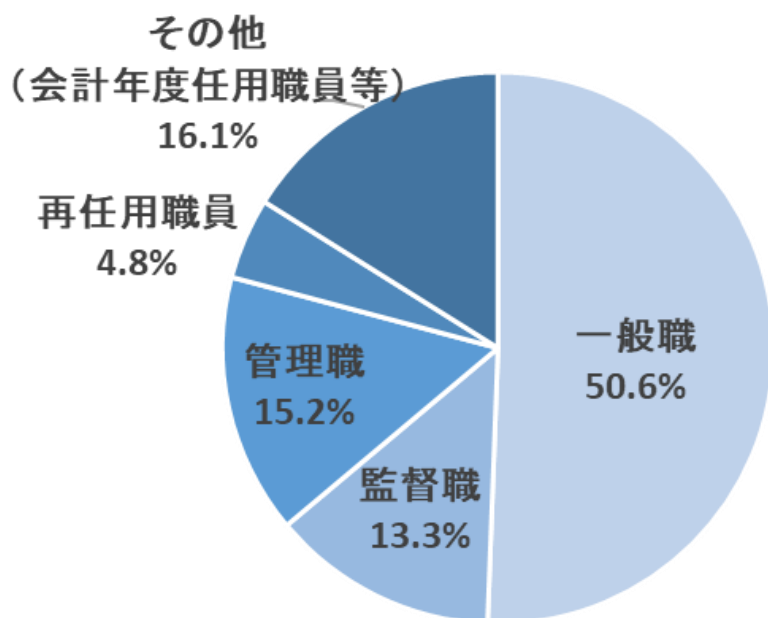
■ 年齢



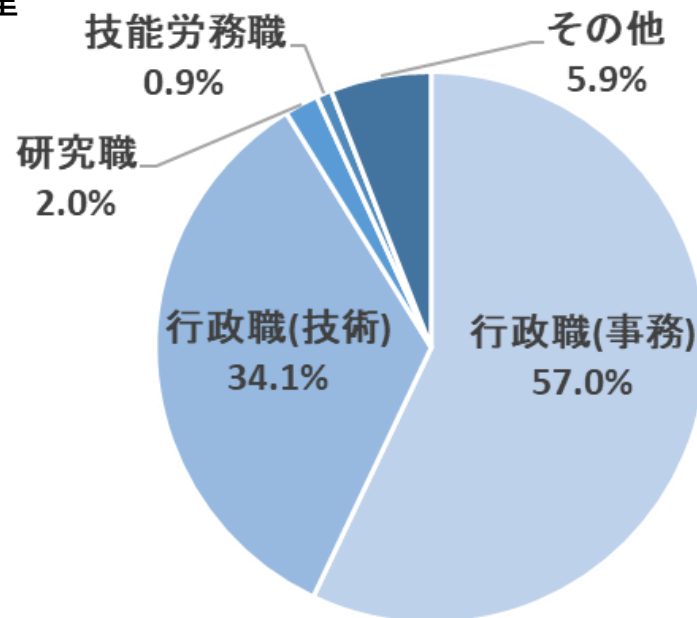
■ 所属部署



■ 役職

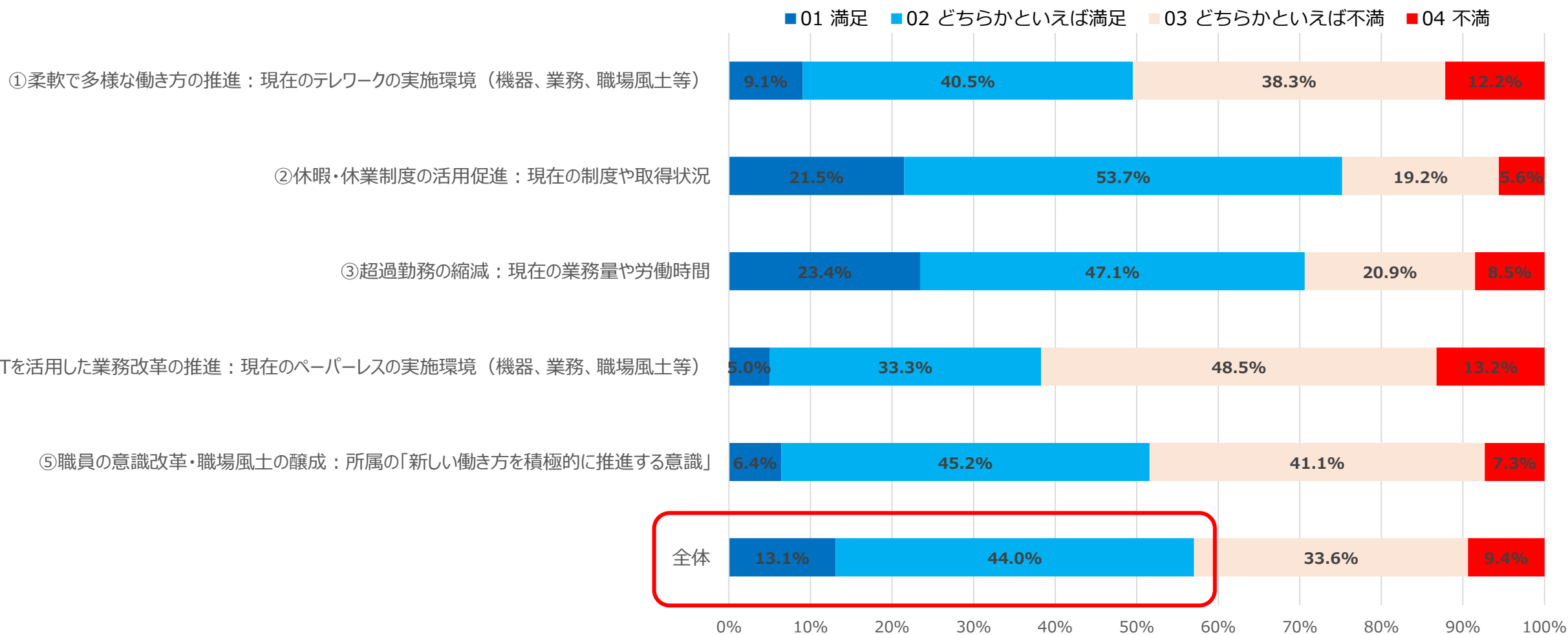


■ 職種



全体結果

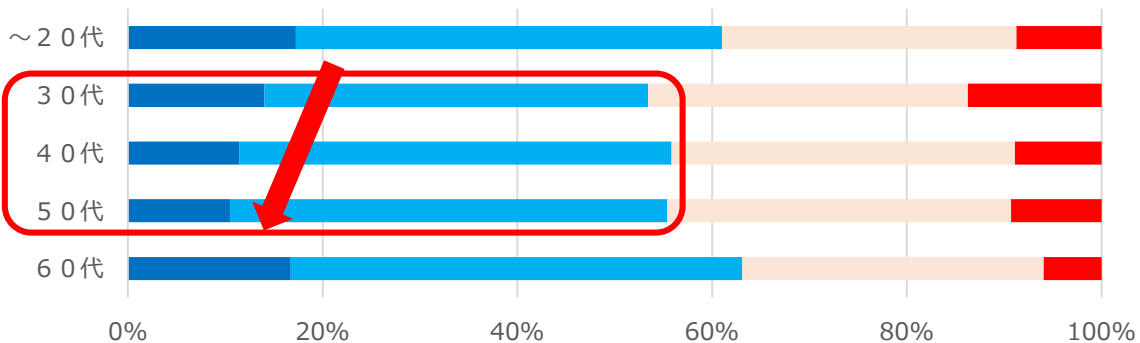
- ✓ 全体の職員満足度（57.1%）は、R4目標を達成・・・「新しい働き方推進プラン」目標 R4：30%（R5：50%、R6：80%）
- ✓ 職員満足度をさらに高めるためには、満足度が50%を下回っている次の項目について、優先的な対応が求められる。
 - ・ ICTを活用した業務改革の推進＝現在のペーパーレスの実施環境（機器、業務、職場風土等）
 - ・ 柔軟で多様な働き方の推進＝現在のテレワークの実施環境（機器、業務、職場風土等）



全体結果

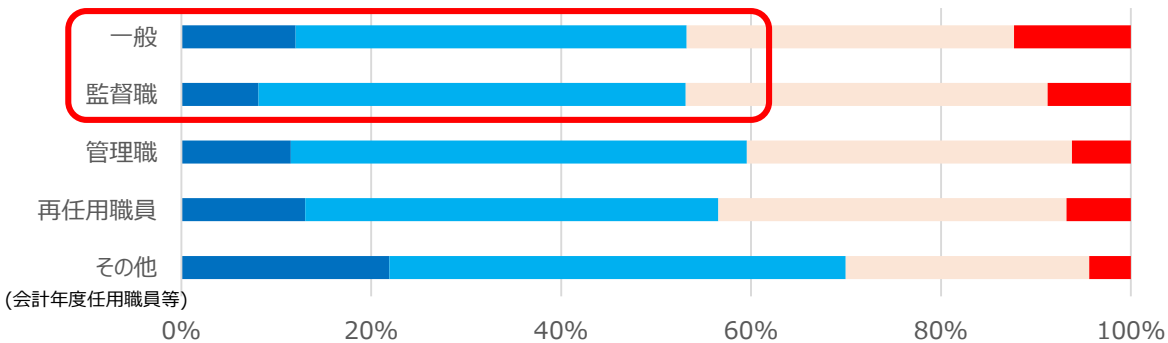
■ 年齢別

✓ 20代未満・60代の満足度が比較的高い一方で、30代～50代にかけて「01 満足」評価が低くなっている



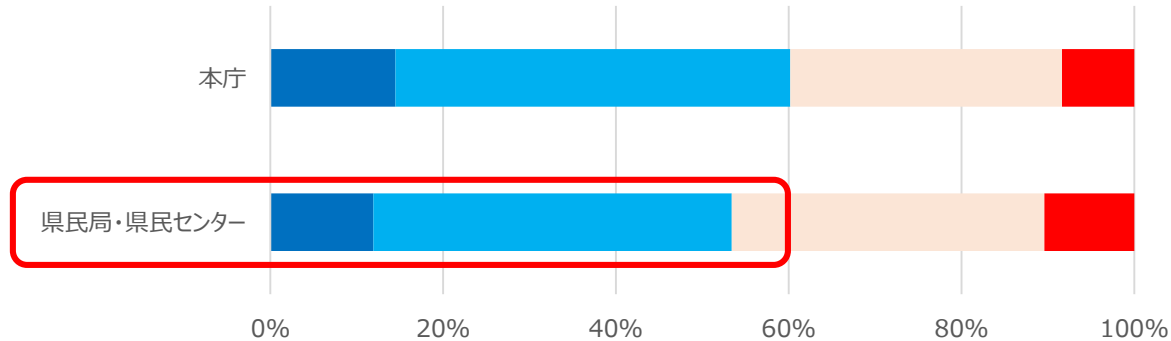
■ 役職別

✓ 一般と監督職の満足度が、他と比べて低い



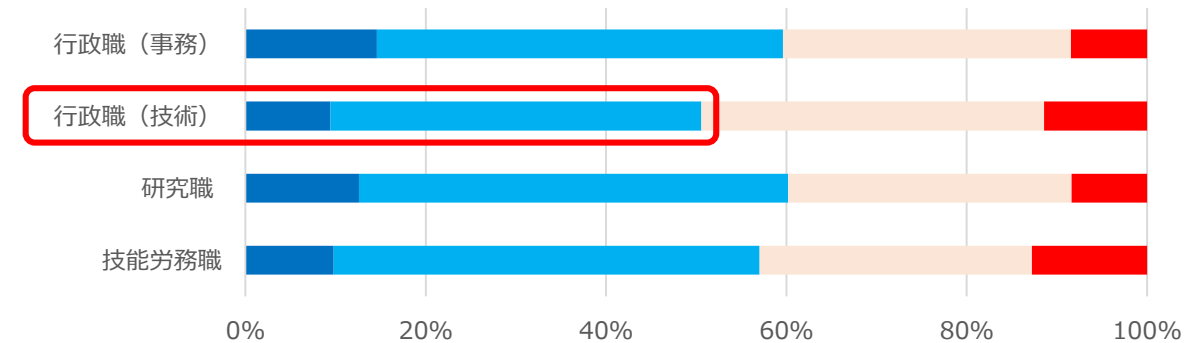
■ 所属部署別

✓ 本庁と比べて、県民局・県民センターの満足度が低い



■ 職種別

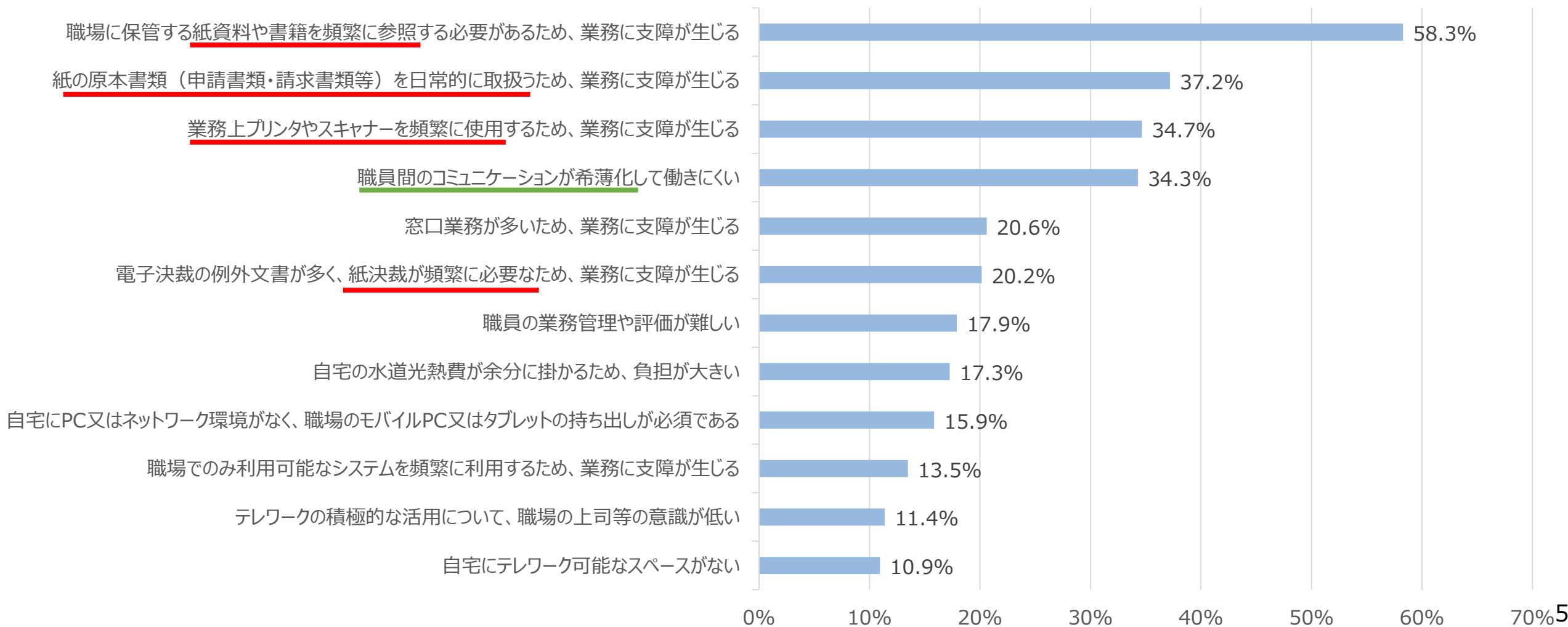
✓ 行政職（技術）の満足度が、他と比べて低い



各項目結果（① 柔軟で多様な働き方の推進）

✓ 「紙資料を前提とした業務」 や 「職員間のコミュニケーション」 が、テレワークの更なる活用を進める上で課題となっている

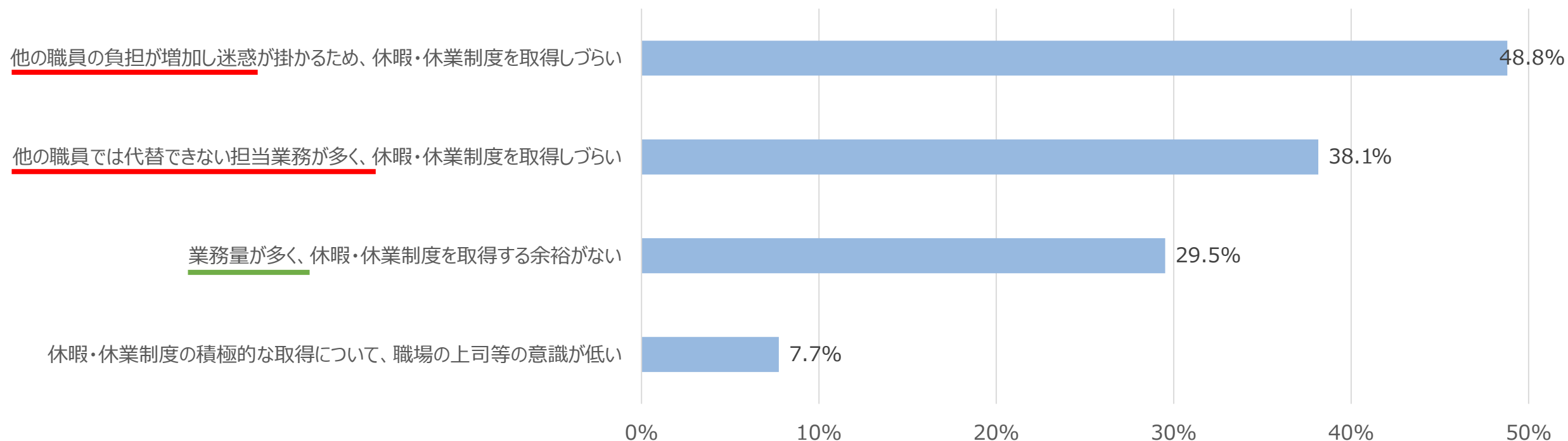
○テレワークの更なる活用に向け、あなたが課題に思うことは何ですか？（複数選択可）



各項目結果（② 休暇・休業制度の活用促進）

✓ 「他の職員との関係性」や「業務量が多いこと」が、休暇・休業制度の活用を進める上で、課題となっている

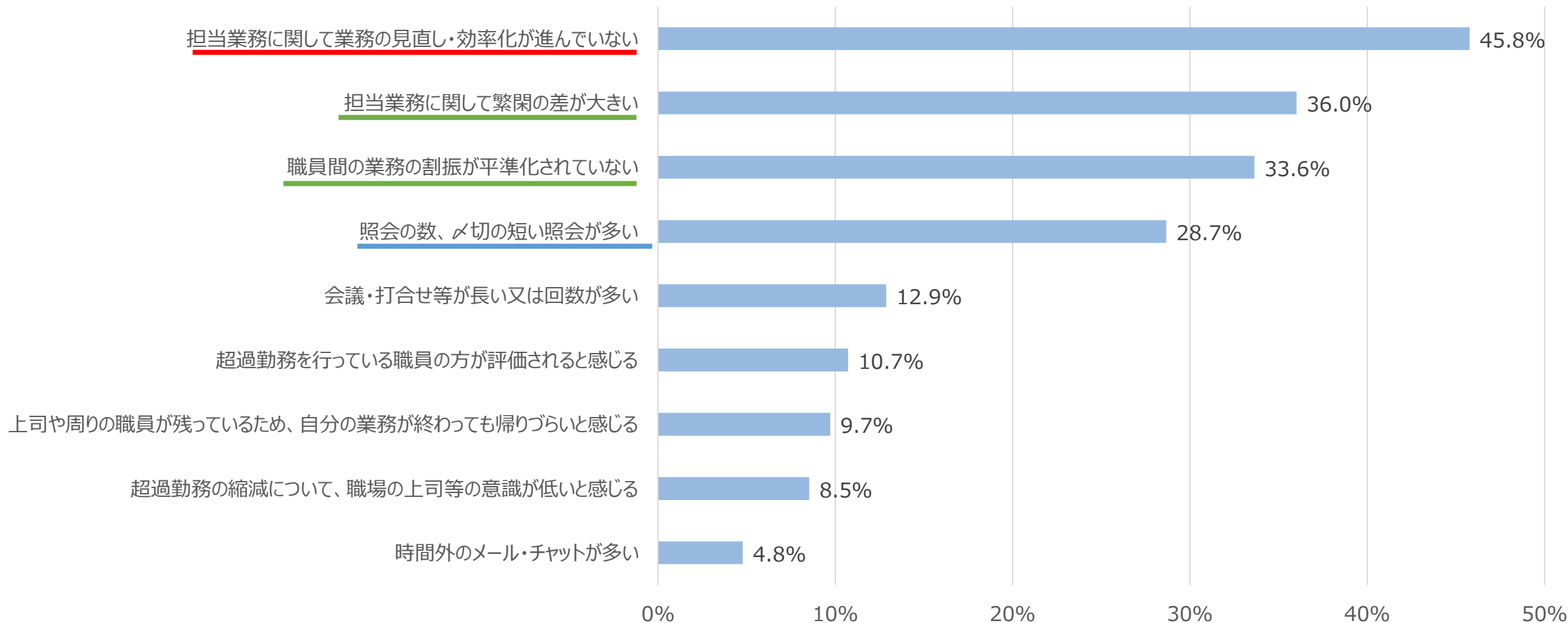
○休暇・休業制度に関して、あなたが課題に思うことは何ですか？（複数選択可）



各項目結果 (③ 超過勤務の縮減)

✓ 「業務見直し・効率化の遅れ」や「時期や職員間の業務量のばらつき」、「照会業務」が、超過勤務縮減の主な課題となっている

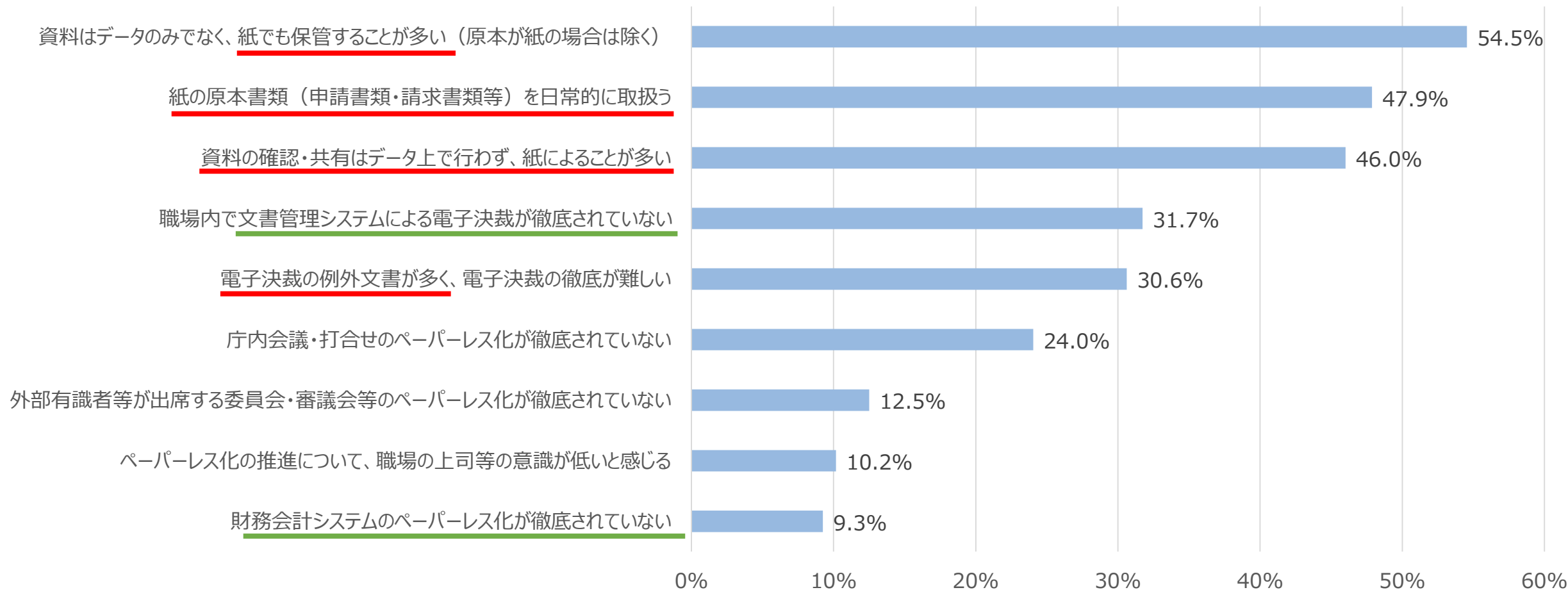
○超過勤務の縮減に向け、あなたが課題に思うことは何ですか？ (複数選択可)



各項目結果（④ ICTを活用した業務改革の推進）

✓ 「紙資料を前提とした業務」や「電子決裁のシステム利用が進んでいないこと」が、ペーパーレス化の推進の主な課題となっている

○ペーパーレス化の更なる推進に向け、あなたが課題に思うことは何ですか？（複数選択可）



各項目結果（⑤ 職員の意識改革・職場風土の醸成）

✓ 「定期的な情報共有・意見聴取」や「幹部・上司による率先・発信」、「研修」が、職員の意識改革・職場風土の醸成を進める上で必要

○職員の意識改革や職場風土の醸成に向け、あなたが必要だと思うことは何ですか？（複数選択可）

